

ドリーマー高知葬祭館

木鶏会

当社では、少し前から月1回木鶏会(読書感想文発表会)を行っております。

題材は、人間学を学ぶ月刊誌「致知」です。

この本を読んで、社員一人一人の人間力を高めることを目的に木鶏会始めました。

今回は、以前に題材となった

「七千人の子の命を救った心臓外科医が教える仕事の流儀」

を読んだ社員の感想文の一部ご紹介いたします。



「皮膚感覚とか現場にいることが大事」というのは、どの仕事に当てはまることであり、葬儀の仕事をしていく中でも、担当を持ち始める前には葬儀概論を読んだり、先輩方から教えていただくことだったり、いろいろな勉強をしましたが、一番大切なことを学んだのは実際に担当を持ち始めてからでした。

葬儀に関しては地域によってやり方や教えが違うため、概論に書いていたことがすべてそのまま正解ではなく、先輩たちから教わったことも当家によってはまったく通用しないことがありました。

そこから自分自身の経験が増えることにつれ当家への対応も上手にいくようになっていきました。

「火は物を焦がすとも、その火は知らず。水は物を潤すとも、その水は知らず。私は慈悲して、慈悲を知らず」の一文に特に感銘を受けました。

日々仕事に追われると、やらなければならない、やってあげているといった考えからただの作業化している状況に陥ることがありました。

今一度自身を見つめなおし、自然体で、押し付けではない優しさをもって日々をすごす、

その日々が誰かにとっていい影響になればと改めて考えさせられました。



同じ題材を読んでも人によって捉え方が違います。その考え方を社員同士が発表し、理解することで、個々の人間力だけでなく会社として成長できるのはという思いで継続しています。はじめた頃よりは少し成長できたのでは・・・。

今後も「致知」を読み、社員一同人間力を高めていきたいと思っております。

10月の行事といえば

皆様は何を思い出しますが？

私は「ハロウィン」ができました。日本では、仮装・コスプレをするイベントとなっております。高知では大きなイベントは少ないですが、都会では、仮装やコスプレをした若者が集まったりなどニュースで取り上げられたこともあったりしました。

しかし、本来「ハロウィン」とは、古代ケルト民族のお祭りで、この日に先祖の霊が家族に会いにくると信じられており、一緒に来てしまう悪霊が子どもをさらったり、悪いことをすると信じられており、その悪霊から身を守るため・驚かして追い払うために仮面をつけたり、仮装をしたことが始まりと言われております。

日本では、仮装をするイベントとして認知されているようですが、先祖の霊が家族に会いにくるという部分でいうと日本のお盆がハロウィンと同じような意味合いを持つのではないのでしょうか。「お盆(初盆)」の際、高知では「水棚」を飾る地域があります。これは、ご先祖様についてきてしまうご先祖様以外の霊が家に入って来ないように家の外でおもてなしをする為に構えられる棚です。少しハロウィンとは意味合いが違ってはきますが、どこの国でもご先祖様がかかわるお祭りがあるのだと思います。

ちなみに私が、『ハロウィン』と「お盆」が同じようなお祭りにあたると知ったのはアニメでした。

そのアニメは、十王が出てくる地獄を題材としたアニメですが、四十九日やお盆など自分の仕事にかかわる内容が入っており、こんなアニメもあるんだなあ・・・と感心したことを覚えています。アニメから学べる事もあると改めて感じました。



樹木葬

～自然に還るお墓～



今回の現地見学会は完全予約制となっております

※ご予約の無い場合見学会の開催を控えさせていただきますのでお越し頂く方は必ずご連絡をお願いします。

10月 24日 (日)

城見ヶ丘 樹木葬エリア

現地見学会開催

10:00~16:00

安心の
永代供養
生野
申込みOK
これまでの
家賃・家系不慮
滞り者不要



永代使用料、管理料、
銘板付(1区画 約40cm角)
1名様用 410区画

35万円

墓じまい、墓地の無料相談会も同時開催中

ご購入者全員にプレゼント致します

ドリーマーならではの 限定特典



特別割引券
10,000円

ドリーマーで使える
施行割引券

無料送迎バスは完全予約制

お電話にて予約受付中
氏名・住所・電話番号をお伝えください。

送迎
9:00 神田葬祭館 発 12:30 神田葬祭館 発
9:30 高知葬祭館 発 13:00 高知葬祭館 発
現地 見学会・ご相談会
10:00~ 13:20~
送迎 ※時間変動あり
11:00 城見ヶ丘 発 14:00 城見ヶ丘 発
直接現地へお越しただいてもOKです。10:00~16:00

お問い合わせ・お申し込みは 販売代理

株式会社
ドリーマー高知葬祭館
受付時間 AM10:00~PM6:00(年中無休※年末年始を除く)
〒780-0071 高知県高知市高橋11-24 TEL.088-883-8611
0120-370-983
ドリーマー 樹木葬 検索

お葬儀コラム ~ お葬式の訃報広告 ~

全国的にも珍しい「ご不幸広告」の新聞掲載ですが、こちらの広告を見るためだけに高知新聞を契約している方もいらっしゃるくらい、高知の皆さんには馴染みがあるものです。高知県内の働き盛りの方々は、この広告に目を通しておくことが常識・・・という方も中にはいらっしゃるようです。今回は、その「高知新聞のご不幸広告」について考えてみたいと思います。

掲載内容としては大まかですが、通夜・葬儀の日程をご案内する通常の「不幸告知」、葬儀終了後に掲載する「ご会葬のお礼」、遺族親族のみで葬儀を行って後日亡くなったことをお知らせする「ご挨拶」、会社関係の方々が主に出される「関連広告」の4種類がございます。

こういった掲載の仕方がいいのか? 「不幸告知」と「ご挨拶」の出し方のポイントを挙げてみます。

「不幸告知」が適している場合

- ・幅広くご会葬いただきたい
- ・故人の交友関係がまったく分からない
- ・葬儀後に会葬者の訪問対応ができない

「ご挨拶」が適している場合

- ・葬儀は遺族・親族のみで行いたい
- ・葬儀終了後の会葬者対応がきちんとできる(誰かが常に在宅してもらえる)

実際よくあるケースですが、「ご挨拶」の掲載後、自宅には故人の奥様ひとりしかいないために会葬者の数々のご訪問に対応ができなかったり、ずっと留守が続いて対応ができなかったりというケースがあります。

こういった方々は、「ご挨拶」を出すよりも「不幸告知」を出して通夜や告別式にお越しいただく方がよいでしょう。親族の方も集まっているので、ご会葬いただいた方への対応やお礼がしやすいです。

当社HPでさらに詳しくご紹介しております。QRコードもしくは、当社HP内「高知葬祭お葬儀コラム」よりご覧いただけますので参考にしてください。

0120-370-983



第74号

ドリーマー
かわら版